

工賃向上と販路拡大

「障害者施設製品販売会「岐阜福祉の森」開催を通して」

工賃の現状

先日、厚生労働省の「『工賃向上計画』を推進するための基本的な指針」に基づく平成29年度の工賃（賃金）実績が、岐阜県のホームページに掲載されました。

この工賃（賃金）実績の公表は、障害者自立支援法（現在の障害者総合支援法）が施行された平成19年度から行われており、平均工賃

平均工賃（賃金）実績データ（全国平均との比較）

施設種別	算出	平成29年度					
		全国			岐阜県		
		施設数	平均工賃 (円)	対前年比 (%)	施設数	平均工賃 (円)	対前年比 (%)
就労継続支援A型	月額	3,546	74,085	3,365	115	70,600	583
	時間額		818	23		803	27
就労継続支援B型	月額	11,225	15,603	308	180	14,010	292
	時間額		205	8		181	7

岐阜県ホームページより抜粋

（賃金）のほか、個々の事業所毎の実績も公表の対象となっています。

岐阜県の平均値については、月額、時間額のいずれも前年度より向上したものの、全国平均を下回る結果となっています。

そこで、県内の障害者就労施設の底上げを目的として、岐阜県セルプ支援センターは、昨年度まで実施していた会員制と会費を、今年度より完全撤廃し、県内の全ての障害者就労支援施設等を事業対象とするように改めました。

セルプ支援センターの取組み

岐阜県セルプ支援センターは、社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会内に設置されており、県内の障害者就労施設等で行われている障害者の就労支援事業をサポートしています。

主な事業は次のとおりです。

- ① 販売・受注促進事業
- ② 研修会等の実施
- ③ 広報・啓発活動

販路拡大への取組み

販売・受注促進事業の主な内容は次のとおりです。

- ① 障害者施設製品販売会「岐阜福祉の森」の開催
- ② 県内各種イベントにおけるセルプ商品の販売
- ③ 常設店舗でのセルプ商品の委託販売
- ④ 商品及び役務の受注のあっせん
- ⑤ インターネットの活用

このうち①「岐阜福祉の森」は、販路拡大と販売機会の確保を目的として、駅や大型ショッピングモールなど一般県民が多く集まる場所で開催しています。



魅せる売り場＝カラフルタウン（岐阜市）にて

概要は、15から20施設程度がバーコードラベル貼付の商品を出品し、1〜2名のレジ係を置き、バーコードで会計処理をしています。

商品の陳列は、魅せる売り場づくりを目指して、各施設が行います。

例えば、お客さまが見やすいよう、手前を低く、奥を高くするよう段差を設定し、POPなどの表示物を使用しています。

また、通路を確保できるように販売台を配置し、全ての商品をご覧いただけるようにしています。

課題としては、対象となる施設が増え、出品希望の施設が増えてきたため、個々のイベントにおけるブース数や、イベント自体が不足していることが挙げられます。

センターとしては、今後、営業を強化し、施設のニーズに応えられるよう販売機会の確保に努めて参ります。

お問い合わせ先

セルプ支援センター

TEL058・273・1111

（内線2526）